

第13回 運営推進会議 議事録

令和4年9月15日

事業所名	デイサービスセンター「よつ葉」			
開催日時	令和4年8月31日(月)			
開催場所	電話・文書での開催			
参加者	利用者 利用者家族 地域住民の代表	1名 1名 1名	知見を有する者 地域包括支援センター 事業所職員	1名 1名 1名
議題	1.運営状況 2.事故・ヒヤリハット報告 3.活動報告 4.感染症対策 5.質疑応答 6.運営委員からの評価 7.今後の活動			
会 議 録				
1.運営状況				
○介護度の内訳 令和4年7月31日現在 合計18名 要支援1:0名／要支援2:1名 要介護1:3名／要介護2:5名／要介護3:5名／要介護4:2名／要介護5:2名				
2.事故・ヒヤリハット報告				
・半年間で事故は1件、ヒヤリハットは4件 事故報告 R4年7月13日 10時00分頃 【内容】バルンカテーテルが引っ張られた状態に気づかず、湯船に入る際に抜けてしまった。 【対応】二人介助で湯船から引き上げ、かけ湯をし、車いすへ移乗した後、看護師に陰部の確認を依頼。 幸い挿入口からの出血はなかった。確認後、家族やケアマネへ連絡し、自宅へ送迎。そのまま受診された。 【今後の対応】常にバルンカテーテルが安全な位置にあるか確認する。カテーテルが抜けにくいように太ももにテープで固定し、浴槽への移動の際は二人介助で行い、一人はバルーンカテーテル・ハルンバッグを持ち、もう一人が利用者様の介助を行う。				
ヒヤリハット報告				
○シェーバーの不具合に気づかず、髭剃りを行った際に皮膚を損傷してしまった。 ○車いすへの移乗の際にフットレストと左脛が接触してしまい皮下出血となってしまった。 ○歯ブラシ本体と歯ブラシキャップの名前に違いがあり、誤って他者の歯ブラシを用意しようになった。 ○方向転換後椅子へ座る際に椅子がまだ準備されていない状態で利用者様が座ろうとされ、そのまま尻もちをついてしまった。				
事故やヒヤリハットが発生した場合には、その都度職員間で話し合いを行い、再発防止に努めている。職員会議でも話し合いの場を設け、事故を未然に防ぐことができるよう取り組んでいる。				
3.活動報告				

- 11月の介護フェア作品作り(ご当地キャラの武田菱丸を壁面で表現)
- 口腔機能向上サービスの実施(コマキ歯科の医師、歯科衛生士の助言を受け、デイサービスの看護師による指導) 対象者:6名
- 脱水や熱中症対策として経口補水液(液状タイプ・ゼリータイプ)の常備、空調管理、掛物調整
- 防災訓練の実施 (R4.3月:大雨で水害を想定した訓練、R4.9月はコロナ感染の為10月へ延期)

4.感染症対策

新型コロナウィルス感染症防止に対する取り組みを様々行っている。

- お迎え時の体温測定(職員も毎日2回の検温、発熱時37.5℃以上は出勤停止)
- 送迎車にフェイスシールド・マスク・体温計の常備
- 来所時の手洗い・うがい・消毒とマスク着用の徹底
- 入浴介助中の職員のマスクの徹底
- 会話に伴う飛沫感染防止の為高さ約60cmのシールドカーテンの設置
- 窓を開け、扇風機やエアドッグ(R4.8中旬)導入にて常時換気
- 午睡後には布団や枕の消毒、枕カバーの洗濯
- 日中に2回と利用時間終了後に室内の消毒(椅子・テーブル・手すり・平行棒・水回り・マスク入れ他)
- 利用時間終了後に送迎車の消毒
- コロナ感染者が出た際には接触者に対する抗原検査実施
- 体調不良(発熱や咳・喉の痛みや不快感等の症状)者に対しての抗原検査や必要時受診の提案

5.質疑応答

以前、包括より地域貢献や地域と認知症キャラバンメイトの取得を前向きに検討していましたが、現時点の繋がりを推進する取り組みとしてのキャラバンメイトは存在せず、新型コロナウイルス感染症第7波の影響によって、認知症キャラバンメイトの取得する行動制限がある為積極的な研修や受講が困難な状況です。感染症や認知症サポーター養成講座の開催が収束し、行動制限や以前のような交流が回復しましたら、キャラバン催、チームオレンジの発足等を提案メイト取得を前向きに検討していきたいと思っております。今できる事させて頂きましたが、その後伸展と致しまして、認知症や地域交流を題材にした定期的な勉強会、提案して頂いた里垣地区との文化協会・地域組織との連携を強化しながらチーム一丸となって安心・安全・満足のサービスを提供していきたいと思っております。

6.運営委員からの評価

(利用者)ここに来ると楽しいよ。体の調子も良いし、面白いゲーム等も良いね。家でずっと暮らしたいから訓練も頑張らなきゃね。

(利用者家族)特に言う事はありません。今のサービスで十分助かっています。今後ともよろしくお願い致します。

(地域の代表者)事故内容に関しては、早急な措置をして大事に至らなかったから良かったと思います。計画に関しては、色々大変だと思いますが、心をつにしていける事で、計画通りに進むと思いますので、

利用者様にやりやすいようにして頂きたいです。

地域との関わりでは、まだコロナ感染が落ち着いてない為難しい状況ですが、出来る事を継続して欲しいです。

(知見を有する者) 事故・ヒヤリハットについて、状況が分かりやすく記載しており職員間でも共有が出来ている印象です。関係機関に連絡も行えており、継続してお願いしたいです。

主な活動に関しては口腔機能の加算も継続して取得しており、異常の早期発見や機能維持が出来ている印象です。脱水や熱中症対策も「水分の促しをこまめにしてくれるのでありがたい」とご家族から話がありました。

コロナ対策に対してはこれ以上ない取り組みが出来ていると思います。サービスをお願いする側も安心して利用者に提案ができます。

(地域包括支援センター)新型コロナの第7波が収束には向かっていると言われていますが、まだまだ予断を許さない状況が続いています。

そのような中、介護フェアでの作品作りについて機能訓練も視野にまた、甲府市の歴史に目を向けた取り組みが非常に良いと感じました。

新型コロナ流行禍で難しいとは思いますが、施設がある里垣地区で文化協会や地域組織と連携し地域での作品展等が出来ればより地域と繋がるいい機会になると思いますので、将来的にはそのような事も視野に入れてみてはいかがでしょうか。

7.今後の活動

- 地域の子どもたちに気軽に声をかけてもらえるような雰囲気の良いデイにする
- 挨拶運動を引き続き実施
- 現在ある新しい生活様式の中での交流の仕方を考えていく

次回、運営推進会議は、令和5年2月の予定

